

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

平成 14 年 3 月 7 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp>

今回は“基準線の向いている方向が相場の向いている方向”とご説明しました。やはり(9432)NTTは上げてきました。要するに、**基準線が上に向けたところから上げ相場が始まる!**(2月28日号のレポート参照)。

では、こうして上げ相場が始まったら、今度は**目標値の出し方を知らなければなりません。**

一目均衡表の理論には**3つの計算値**があるのです。

順を追ってご説明します。(6764)三洋電機のチャートをご覧ください...

まずは、2001年9月安値418円から12月高値706円。この上げ幅の288円を、その後の安値である今年2月の467円に足すと755円。これを**N計算値**といいます。

つぎは、2001年9月安値418円から12月高値706円、上げ幅は288円。ここまでは先ほどと同じです。しかし今度は、この288円をその後の安値に足すのではなく、12月高値の706円に足してください、要するに418円から706円まで288円上げたから、その288円を706円に足すわけです。994円。これを**E計算値**といいます。

最後の3つ目は、2001年12月高値706円から今年2月安値467円まで239円下げているので、その239円を12月高値の706円に足すと945円。これを**V計算値**といいます。ご自分でもチャートを見て確かめてみてください。

まとめますと、N計算値755円。V計算値945円。E計算値994円。一目均衡表の理論には**N・V・Eという3つの計算値がある**ことになります。

では、なぜこれを知っておかなければならないのかというと、**上値メドとなる目標値は、このN・V・Eという3つの計算値のいずれかにあてはまっていることが多いといわれるからなのです!**

(無料テレホンサービス)やさしいチャート教室 03-3669-5552



Alpha Chart 社製

このレポートは投資の判断となる情報の提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。